

第貳回 全日本三輪選手権



11月25日(日)、奥津温泉花美人の里で、第貳回全日本三輪選手権が開催され、県内外から13チームが出場しました。

この大会は、花美人の里や鏡野町観光協会などのメンバーで構成された全日本三輪選手権実行委員会主催で行われ、出場者たちは持参した三輪車にまたがり、花美人の里の回廊前に設けられた1周約100メートルのコースを3人1組のチームで90分走り続け、周回数を競いました。

残り時間が半分を切ると、三輪車にまたがっていけばペダルをこがずに地面を蹴って進んでもよいという特別ルールが導入されましたが、なんと三輪車に

後ろ向きにまたがって周回する選手も現れました。

競技が終了すると、地元の有志によるイノシシ鍋がふるまわれ、出場者は冷えた体を温めながらおいしそうに食べていました。

優勝はチームで64周を走った高谷良平チームで、「このチームで優勝できたことよりも皆さまと一緒に走れたことがうれしかったです。ありがとうございます。」と話していました。

